

■プログラム

13:30 - 13:40 **主催者挨拶**
梶山 弘志 内閣府特命担当大臣（地方創生、規制改革）

第一部 13:40 - 14:40

13:40 - 14:10 **基調講演** 「地方分権をめざす未来」
増田 寛也 東京大学公共政策大学院 客員教授

14:10 - 14:40 **基調講演** 「地方の声で国の制度が変わる提案募集方式」
高橋 滋 地方分権改革有識者会議提案募集検討専門部会長
法政大学法学部 教授

14:40 - 15:00 **休憩** ※地方分権改革推進MVPの授与を行います（傍聴自由）

第二部 15:00 - 16:30

15:00 - 16:30 **パネルディスカッション**
「提案募集方式による地方分権改革の成果と展開」

パネリスト（五十音順）

太田 稔彦 豊田市長

大橋 洋一 学習院大学法科大学院 教授

田中 里沙 事業構想大学院大学 学長
宣伝会議 取締役

中橋 恵美子 NPO法人わははネット 理事長

野村 文吾 十勝バス株式会社 代表取締役社長

コーディネーター

人羅 格 毎日新聞社 論説副委員長

地方分権改革 シンポジウム ～地方の提案で国の制度が変わる～

開催日 平成30年3月19日（月）

時間 13:30～16:30（開場 12:00）

会場 銀座ブロッサム（中央会館）
東京都中央区銀座2-15-6

内閣府 地方分権改革推進室

所在地 〒100-8970 東京都千代田区霞が関3丁目1番1号 中央合同庁舎第4号館

「地方分権改革」の詳細は、ホームページでもご覧になれます。

<http://www.cao.go.jp/bunken-suishin/>



Twitter「地方分権改革」公式アカウント
https://twitter.com/cao_bunken



Facebook「地方分権改革」公式ページ
<https://www.facebook.com/cao.bunken>

主催:  内閣府

ご参加の皆様へ

地方分権改革の推進は、地域が自らの発想と創意工夫により課題解決を図るための基盤となるものであり、地方創生の極めて重要なテーマです。

平成 30 年は地方分権改革に関する衆参決議から 25 年、提案募集方式も 5 年目を迎える節目の年です。これまでの取組を振り返り、提案募集方式の成果を踏まえながら、地方分権改革を今後の地域づくりに活かしていく必要があります。

本日のシンポジウムが、地方分権改革・提案募集方式について、多くの自治体関係者や住民の皆様の関心を高め、参加していただくきっかけとなれば幸いです。

主催者挨拶



梶山 弘志 内閣府特命担当大臣（地方創生、規制改革）

基調講演



増田 寛也 東京大学公共政策大学院 客員教授

1951 年東京都生まれ。東京大学法学部卒業後、建設省（現・国土交通省）入省。その後、千葉県警察本部交通部交通指導課長、茨城県企画部鉄道交通課長等を経て、1994 年建設省建設経済局建設業課紛争調整官にて退官。1995 年岩手県知事（～2007 年、3 期）。2007 年総務大臣（～2008 年）。現在、株式会社野村総合研究所顧問、東京大学公共政策大学院客員教授。

編著書『地方消滅』（中公新書）、『地方消滅 創生戦略篇』（中公新書）、『東京消滅一介護破綻と地方移住』（中公新書）



高橋 滋 地方分権改革有識者会議提案募集検討専門部会長
法政大学法学部 教授

1986 年一橋大学法学研究科博士後期課程単位取得満期退学。同年徳島大学講師に着任、同助教授。5 年半を徳島で過ごし、その間、学生たちと四国各県を回り、あるいは、徳島県庁の研究会等に参加して、地域振興施策の策定にも関与する等、地域の実情に触れる。その後、1991 年より一橋大学。2010 年一橋大学国際・公共政策大学院長、2012 年一橋大学副学長を歴任。2016 年より現職。第 1 次分権改革における地方分権推進委員会および、第 2 次分権改革における地方分権改革推進委員会、地方分権改革有識者会議と、地方分権改革の作業に携わる。

【休憩中のイベント】地方分権改革推進 MVP の授与（内閣府地方分権改革推進室）※傍聴自由

地方分権改革に関する提案募集において、提案の掘り起こしや提案検討のプロセスなど当該地域の実情を踏まえた独自の工夫に努め、他団体の模範となるような功労が認められる者を対象に MVP を授与し、広く周知することにより、提案募集方式の一層の普及及び改革の参加者の拡大に資することを目的として実施します。

今回の MVP 対象者は、兵庫県企画県民部政策調整局広域調整課、豊田市総務部行政改革推進課（愛知県）、山梨県町村会、大分県総務部市町村振興課、島牧村福祉課（北海道）です。

各者の取組詳細については「平成 30 年版 地方分権改革・提案募集方式ハンドブック」をご参照ください。

パネルディスカッション

パネリスト（五十音順）



太田 稔彦 豊田市長

1954 年生まれ。豊田市出身。1977 年早稲田大学商学部卒業。同年豊田市採用。経営政策本部長、総合企画部長を経て、2012 年 2 月から現職（現在 2 期目）。現在、地方分権改革有識者会議議員、中核市市長会副会長、愛知県市長会副会長などを務める。



大橋 洋一 学習院大学法科大学院 教授

専門は行政法学。法学博士（東京大学）。1998 年九州大学法学研究科教授、2007 年より学習院大学法務研究科教授。九州大学名誉教授。内閣府地方分権有識者会議提案募集検討専門部会委員、総務省行政不服審査会委員、最高裁判所行政不服審査委員会委員、総務省地方議会・議員に関する研究会委員（座長）、国土交通省社会資本整備審議会臨時委員、総務省国地方係争処理委員会委員等を務める。主な著書に、『行政法 II 現代行政救済論（第 3 版）』（有斐閣・2018 年）、『行政法 I 現代行政過程論（第 3 版）』（有斐閣・2016 年）、『社会とつながる行政法入門』（有斐閣・2017 年）。



田中 里沙 事業構想大学院大学 学長
宣伝会議 取締役

1989 年新卒で広告会社に入社。1993 年宣伝会議に転籍し、1995 年月刊『宣伝会議』編集長に就任。大手企業に限られていた広告、広報、マーケティングの概念と手法を政府・行政等の公的機関、中堅中小企業、地域に広げ、コミュニケーションの重要性と有効性を提示し、雑誌および書籍出版、研究会、セミナー等を展開してきた。市場の多様化に伴い、『販促会議』『広報会議』を立ち上げ、取締役編集室長に就任。2003 年より『環境会議』『人間会議』編集長。2012 年事業構想大学院大学教授就任とともに、月刊『事業構想』を創刊。2016 年 4 月事業構想大学院大学学長就任。



中橋 恵美子 NPO 法人わははネット 理事長

平成 10 年子育てサークル発足、同 14 年 NPO 法人化。香川県初の地域密着型子育て情報誌を発行、県内に子育てひろば 4 拠点、女性や子供の育成支援、子育て支援を中心とした居場所づくりや情報発信等の事業を行う。行政と協働し県内企業に向けたワークライフバランスの推進や女性活躍のためのメンター養成、女性の健康支援なども手掛ける。子育てタクシーを発案し全国に拡大、地方の美容院等と連携した縁結びや子育て支援活動を発案・展開するなど企業とのコラボにより街を活性化させる。活動テーマは子育て支援・女性活躍促進・まちづくり。一般社団法人全国子育てタクシー協会理事、NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事、他。



野村 文吾 十勝バス株式会社 代表取締役社長

1963 年帯広市生まれ。小樽商科大学商学部卒業。国土計画（現西武ホールディングス）勤務後、1998 年十勝バス株式会社入社。2003 年より現職。入社後「乗客を増やす」という基本に戻り沿線住民宅の戸別訪問で直接声を聞くなど業界で初めて「営業」を強化。顧客が何を求めているか、それにどう応えるかを模索し、6 年連続増収という地方バス会社としては前例のない快挙を成し遂げる。テービーオイル株式会社代表取締役社長、十勝地区バス協会会長、一般社団法人北海道バス協会理事、帯広商工会議所副会頭。

コーディネーター



人羅 格 毎日新聞社 論説副委員長

北海道札幌市生まれ。札幌北高校、東北大学法学部卒業後、1985 年毎日新聞社入社。仙台支局を経て政治部へ。政治部官邸キャップ、同副部長などを経て現職。政局取材を主に担当。地方自治を専門領域とし、政府の地方分権改革有識者会議専門部会委員。東京都明るい選挙推進協議会委員。